



# 動物レスキュー通信

2019年2月 第69号 (平成31年2月1日発行)

発行元

一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく)：詩月財団 理事長  
愛玩動物飼養管理士 一級  
ペット災害危機管理士 三級  
お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

## 災害対策

### 自助にはどんな備えが必要?



前回では災害時には「自助」が基本となるとして、飼い主さん自身と愛犬・愛猫を守ることが出来るのは飼い主さんしかいない、というお話をさせて頂きました。そこで今回はその「自助」の為には具体的に何をどうすればいいのかをお話していきたいと思います。

### 何をすればいいのか?

災害はいつやってくるか分かりません。その為、災害を未然に防ぐ「防災」の意識が今まで大切だと思われていました。しかし近年になって、避けられない災害が増える事により、災害は起ってしまうものだという事が前提で、被害を最小限に抑える「減災」が重要なと考えられています。その為には「公助」だけでは十分でないため、「自助」がとても大切です。自助は日頃からの備えがとても重要となります。もちろん万全に準備しておいても災害そのものを避ける事はできませんが、心として物を準備しておく事で、いざという時にも慌てることなく落ち着いて行動する余裕が生まれてくるはずです。では、何を、どのように準備しておけばいいのでしょうか? ①自宅の安全対策 災害時に重要なのは、飼い主さんが無事である事です。先程も言いま

したが、愛犬・愛猫を守る事が出来るのは飼い主さんだけだという事。自分が怪我などをしまつてはどうしようもありません。家具の転倒・落とし防止や配置の工夫、開き戸には留め金を付ける窓ガラスへの飛散防止対策や強化ガラスへの変更など、室内の安全対策を十分に行いましょう。②愛犬・愛猫用の備蓄品の準備「薬や療養食など、愛犬・愛猫の命に関わるものは必ず準備して下さい。そして最低でも5日分のフードと水、病歴などを記載したもの、写真、ペットシートや猫砂などを入れ、愛犬・愛猫用に非常用の持ち出し袋を準備して下さい。③「身元表示をする」「万が一」はぐれてしまつても再会できるよう、首輪や迷子札、鑑札などを必ず身につけてあげて下さい。そこにマイクロチップがあれば更に安心です。④「地域の防災計画を確認」ハザードマップや避難場所を事前に確認してきましょう。愛犬・愛猫と同行避難できる避難所を確認したり、避難所まで実際に行ってみるなどの、同行避難をシミュレーションする事も大切です。⑤「しつけ」これは自助の為だけではないですが、とても大切な事。普段のように自宅で過ごす時とは違う、どうしても不自由を強いられる状況になります。普段からしつけや社会性を身につけておくと、避難生活も円滑に送れる事があります。キャリーバッグで移動する練習や、ケージで過ごす機会などで日頃の生活に少

自助だけではなく、その次の段階である共助もとても大切な事です。困った時などに互いに支え合える飼い主さん同士のネットワークは非常に大切です。御近所付き合いや人間関係が希薄になってしまいがちな現代ですが、特に一人暮らしの方や共働きの世帯などでは、「ワンちゃん・ネコちゃんだけでお留守番」という場面が多くあります。災害時に飼い主さんがすぐに帰宅できる状況だと限りません。そんな時にワンちゃん・ネコちゃんの安否確認をお願い出来る人や、万が一の場合は一時的に預かってもらえるような仲間を見つけておくと、非常に安心です。

前回と今回、2回に渡って防災対策のお話をしましたが、防災には日頃からの準備がとても大切だという事に気付かれましたと思います。飼い主さん自身や家族の備えを用意すると同時に、「ワンちゃん・ネコちゃんの備えを必ず用意しましょう。そうする事で、思いがけない事が起つてしまつたとしても心にゆとりを持って行動する事ができ、減災を可能にすると思います。(詩月)

### 共助も必要

の生活に少し取り入れてみると良いでしょう。(6)「健康管理」愛犬・愛猫が病気の状態では家の外に避難させる事が困難になります。また、「ミヤマダ」対策 フィラリアの予防などをしておかないと、他のワンちゃん・ネコちゃんに迷惑をかけるだけではなく、愛犬・愛猫も感染してしまうリスクがありますので、普段から健康管理を徹底し、予防をしておく必要があります。